

生命の

いのち



《聖母子》17世紀初
日本二十六聖人
記念館蔵

輝きを求めて

In search of the brilliance of life



2022.

9/16 金 11/13 SUN

前期：9月16日(金)～10月11日(火)

後期：10月13日(木)～11月13日(日)

※休展日：10月12日(水)は展示替えのため休展

大分県立美術館 3階 コレクション展示室

開館時間 10:00～19:00 金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

観覧料 一般300(250)円 大学生・高校生200(150)円

※()内は有料入場20名以上の団体料金※中学生以下は無料※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金※高校生は土曜日に観覧する場合は無料※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください



匿名 蔵

高山辰雄《食べる》1973年



《フランシスコ・ザビエル肖像
〔東洋の使徒フランシスコ・ザビエルの生涯〕》
1597年 大分市歴史資料館蔵

OPAM

In search of
the brilliance of life

生命の 輝きを求めて



生きるとはなにか。多くの美術家たちは、この問いと向き合いながら創作を続けてきました。今年生誕110年を迎える日本画家・高山辰雄もその一人です。高山は、自然と人間とのつながりや、生命の不思議に思いをめぐらせ、その思念の先につむぎ出した心象風景を通じて独自の画境を切り拓きました。その深い精神性を湛えた絵画表現は、今日もなお、多くの人々を魅了しています。

本展は高山辰雄を中心に生命の神秘や輝きを独自の手法で表現した作品を紹介します。また、特集展示として大友宗麟とフランシスコ・ザビエルの出会いがきっかけで大分の地に花開いたキリシタン文化をピックアップ。信仰に生命を捧げた大分のキリシタンの軌跡を振り返ります。



1. 糸園和三郎《鳥と青年》1959年
2. オーギュスト・ロダン《影》1880年頃
3. 《伊東マンショ肖像画》1585年 長崎歴史文化博物館蔵

4. 高山辰雄《山を行く》1984年
5. 《ベトロ岐部カスイ肖像(『日本の精華』)》1646年 国東市蔵(大分県立先哲史料館寄託)
6. 《ヴェロニカのメダイ》16世紀後半 大分県立埋蔵文化財センター蔵 国指定重要文化財

関連イベント

講演会「大友宗麟とキリスト教 ムジカを夢みて」

講師：大津祐司(元大分県立先哲史料館館長)

日時：2022年9月17日(土) 14:00-15:30

会場：大分県立美術館 2階 研修室

参加費：無料(要事前申込) 定員：40名

ギャラリートーク

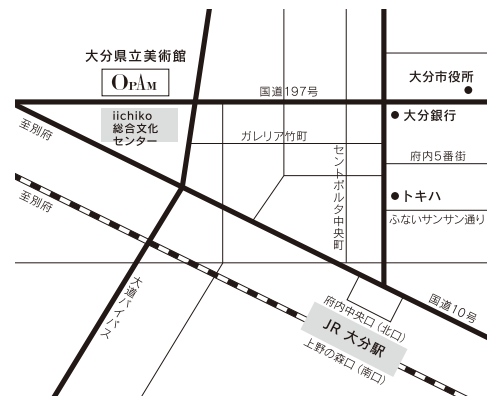
開催日：2022年9月25日(日)、10月16日(日)、11月6日(日) 各日14:00~15:00

※予約不要・要展覧会観覧券

申込み
申込み：お電話(097-533-4500)またはapp@opam.jpへ、件名にイベント名、メール本文にお名前とご連絡先をご記入の上、お申込みください。定員に達し次第、締切とさせていただきます。



展示会情報



同時開催

【特集展示】此君礼贄vol.5

テーマ：唐物の竹工芸と文人画
大分の竹工芸の歴史と魅力をご紹介します。
早川尚古齋(四世)《釣花籃》1931年 大分県立美術館蔵



西洋音楽発祥の地プロジェクト

「創作舞台 ムジカと生きる」

開催日：2022年11月6日(日)16:00 場所：iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ
戦国時代、キリシタン大名の大友宗麟は、音楽が溢れる平和な世界を理想郷として「ムジカ」と呼びました。西洋音楽発祥の地である大分の歴史、文化を紐解く歴史スペクタクル舞台を上演します。

【お問合せ】(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団 広報・連携推進課 Tel: 097-533-4007



公演情報

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号
Tel: 097-533-4500 Fax: 097-533-4567
JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分 大分ICから車で10分
<https://www.opam.jp>